

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地域農業者ネットワークづくり事業												
事業担当	所属	地域振興部 三和支所					所属長	岡部 晴朗					
会計情報	事業コード	130228	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名						
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	農林産物の販売方法の多様化を進め、三和地域及び福知山市全体で協力体制を構築する手法を検討し、持続可能な農山村の維持に繋げる。														
対象者												対象者数	3,204	単位あたりコスト	2.7
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )														
委託先・実施主体等	-														
事業概要 (箇条書き)	三和地域の基盤産業である農林業の振興による活性化を図るため、「地域おこし協力隊員」を募集し、協力隊員を任用した。 「地域おこし協力隊員」は、都市地域から過疎地域等に移住し、一定期間(平成30年8月1日から令和3年7月31日までの3年間)、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援、農林業への支援、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図るものである。 「地域おこし協力隊員」のミッションとして、「三和地域の農業(農業者)を元気にする」を掲げ、目的を達成するために、「新規農産物等の販売機会を増やす」ことを戦略として、大阪の商店街での販売、販売機会への農家の登録、農業者のネットワーク、新規農業者の支援、特産物や商品の開発と商品化などを戦術として実行する。 行政の役割は、地域と「地域おこし協力隊員」の間を取り持つ調整役として隊員を支えることである。隊員の取り組み状況については、毎日の日誌の内容を確認することで、コミュニケーションをとり、アドバイスや情報交換を行っている。														
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容												
	報酬	2,400	地域おこし協力隊員報酬												
	需用費ほか	127	リース車ガソリン代、出張旅費、隊員活動の旅費(燃料費)												
	役務費	175	自動車賃貸借車(リース車)任意保険料												
	使用料及び賃借料	561	協力隊員_居住に係る建物借上料、自動車賃貸借料												
工事請負費	2,401	三和町市有地理設物撤去工事													

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	2,564	3,042	3,179	1,086
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①~③)	2,564	3,042	3,179	1,086	
予算財源内訳	① 一般財源	2,564	3,042	3,179	1,086
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	67	2,622	0	0
	② 配当予算	2,631	5,664	0	0
	③ 執行額	2,230	5,664	0	0
	④ 執行率	84.7%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.8/0	0.35 / 0.04	0.35 / 0.04	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	6,400	2,900	2,900	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,630	8,564	2,900		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	新規農産物等販売機会数	回/年	-	0	4 / 3	/	4	5回/年(12月)
販売機会への登録農家数	戸	-	0	8 / 13	/	33	40戸(累積)	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	団体等との協議等	回/年	-	50/50	153 / 50	/	50	50回/年(12月)
	単位あたりコスト		-	44.60	37.02	/		
	単位あたりコスト				/			

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	・地域おこし協力隊員の外部からの視点による自由な発想と、制約のある行政職とは違った柔軟で可動域の広いフットワークにより、新しい農業振興の方法を想起することができる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	・新しいアイデアや都市部との交流の深化等により、農業を基幹的産業とする三和地域、さらには市の農業が振興し、全体的な経済的効果が期待できる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	・農産物の生産量の低下という現実的な課題の把握と克服に向けた考察を行い、販路拡大や流通の強化に向けて取り組んでいる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>地域おこし協力隊員は地域に積極的に入り込み、会議への出席や現場で農業の実地体験を行うなど農家との良好な関係を構築するとともに、三和地域の農業団体、農業生産組織、主要な農家と連携して、地域の農業の最新の現状、課題を把握し、農業振興による地域の活性化をめざして活動している。その成果は短期間で現れるものではないが、今後の協力隊員の取組について期待しており、行政も連携を継続していく。</p> <p>平成30年度は、三和町友洲地域と大阪市都島区友洲町とでつくるすこやか友洲交流会の活性化及び新規の農産物等の販売機会を増やす目的のため、大阪市都島区のまちづくりセンター・蕪村と連携しながら、蕪村通り商店街の店舗を利用し、三和地域の地域紹介や農産物等の販売すること及び農産物等を出荷してもらうため、農家への働きかけと調整を行っている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>高齢化する農家の後継者不足や農業生産組織の弱体化の中での農業関係者との協力体制と農林産物の年間を通した安定的な確保。販路開拓に向けた市場の開拓及び顧客の確保等。</p> <p>三和地域においては、人口減少と高齢化が進む中、農業従事者の高齢化と減少、後継者不足及び農業意欲の減退がますます進行している。この状態を回復できるよう、また新規就農者の支援等、三和地域の農業(農業者)を元気づけることが喫緊の課題である。</p> <p>三和地域におけるJAへの出荷を除く、販売機会は、現在すこやか友洲交流会、夕焼け市、JA野菜市(JAとしては令和元年6月末で終了)の3つとなっているが、組織の高齢化等で弱体化していることもあり、販売は不振である。そのため、農業者ネットワークづくり、新しい農業ビジネスの確立及び工夫をこらした販路開拓などにより販売機会数を増やしていく。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>【R01棚卸しによる見直し状況】</p> <p>地域おこし協力隊員3年任期の残る4か月で、農林産物の販売方法の多様化を進め、三和地域及び福知山市全体で協力体制を構築する手法を検討し、持続可能な農山村の維持に繋げることとした見直しの成果として、新規農産物等販売機会数及び販売機会への登録農家数の最終目標値を達成する。</p>

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	里の駅みたく管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課				所属長	西畑 信寿						
会計情報	事業コード	220311	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	農村研修集会施設等管理事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境に育まれた地域資源を活用し、高齢者がいきいきとした活動をし、持続的な地域コミュニティの形成や地域の活性化を図る。								
対象者	三岳地域住民	対象者数	469	単位あたりコスト	6.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
委託先・実施主体等	三岳高齢者活動促進施設運営委員会								
事業概要 (箇条書き)	指定管理者により民間ノウハウを活用し、効率的かつ効果的に施設の管理運営を行う。 「見守り弁当」の活動を通して、自宅で生活する高齢者の孤立防止を図る。 令和元年度末をもって指定管理を終了し、「里の駅みたく」を普通財産として地縁団体に貸し付け、地域で暮らす高齢者の活動の場として運営を図る。 三岳地域で採れる農作物やその加工品、近隣事業者が製作した様々な製品の販売を通して三岳地域の魅力発信を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	392	指定管理料						
	需用費	189	里の駅みたく 女子トイレ便器取替修繕						
	補償、補填及び賠償金	21	不可抗力によって発生した費用等の補償(福知山市里の駅みたく)						
	役員費	10	建物総合共済基金分担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	453	601	660	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	453	601	660	0					
予算財源内訳	① 一般財源	453	601	358	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	302	0				
決算情報	① 流充用額	84	69	0	0				
	② 配当予算	537	670	0	0				
	③ 執行額	537	613	0	0				
	④ 執行率	100.0%	91.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/専任職員)	0.14 / 0.00	0.28 / 0.00	0.28 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,120	2,240	2,240	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,657	2,853	2,240					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設利用者	人	14,425/21,000	11,993/21,000	10,772 / 21,000	/ 9,620	9,620		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設開館日数	日	311 / 311	313 / 311	285 / 311	/ 260	260		
	単位あたりコスト		1.77	1.70	2.15	/			
	単位あたりコスト				/	/			

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	三岳地域の高齢者のいきいきとした活動を支援する施設であり、指定管理施設として市が取り組む必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	施設の維持管理に必要な最低限の予算で施設運営に取り組んでいるため、コスト削減は厳しい現状である。令和2年3月末をもって指定期間が終了するため、今後より効率的な運営を図るために地元と協議を行った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	施設利用者数や売上は減少傾向にあり、成果目標の達成には至っていないが、新鮮な地場野菜や地域の特産品販売、「見守り弁当」の活動等を通じて、農産物生産意欲向上や高齢者の活動促進、地域の活性化に大きな役割を担っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	指定管理者は地域の高齢者で構成される団体であり、過疎、高齢化が進む中コミュニティが形成されており、地域振興を図ることができている。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度をもって現在の指定管理者の指定期間が終了するため、令和2年度以降の運営方針について地元と協議を進め、高齢者活動促進施設「里の駅みたけ」について、高齢者の活動促進及び地域コミュニティ活動の場として公共用に使用することを目的に普通財産として地元地縁団体に貸し付ける方向で調整を行った。道路事情の変化等により利用者数は減少しており、より効果的なPR方法の検討や更なる地産地消の推進等、時代のニーズに応じた事業展開が必要である。引き続き観光地域づくりセンター等の支援を受けて販路の拡大などに取組み、地域の魅力発信を図っていく。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	「福知山市里の駅みたけ条例」を廃止し里の駅みたけを普通財産化したことに伴い、本事業を令和2年度をもって廃止し、農村研修集会施設等管理事業に統合する。

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: 農村研修集会施設等管理事業 )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性							
事業名	農業振興事務管理事業						
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課			所属長	中島 美香	
会計情報	事業コード	210189	款	06 農林業費	項	01 農業費	
				目	03 農業振興費	会計	01 一般会計
						決算付属資料	168
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する			
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-	
根拠法令等	-						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合						
関連事業							

II 事業基礎情報						
事業目的 (あるべき姿)	農業振興に係る一般的経費を当事業で支出する。					
対象者	対象者数	-	単位あたりコスト	-		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
委託先・実施主体等						
事業概要 (簡潔書き)	農業振興施策に関する一般管理費					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容			
	賃金	624	臨時職員賃金			
	需用費	570	消耗品ほか			
	役務費	629	郵送料ほか			
	使用料及び賃借料	448	複写機使用料、公用車リース料			
その他事務経費	175	報償費、旅費				

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	2,059		2,050		2,049			
	② 補正予算	0	0		0		0			
	③ 繰越予算	0	0		0		0			
	前年度繰越	0	0		0		0			
	次年度繰越	0	0		0		0			
小計(①~③)	0	2,059		2,050		2,049				
予算財源内訳	① 一般財源	0	1,671		1,662		0			
	② 国支出金	0	0		0		0			
	③ 府支出金	0	0		0		0			
	④ 地方債	0	0		0		0			
	⑤ その他特財	0	388		388		0			
決算情報	① 流充用額	0	450		0		0			
	② 配当予算	0	2,509		0		0			
	③ 執行額	0	2,446		0		0			
	④ 執行率	0	97.5%		0		0			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.22	/	0.00	0.22	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0	1,760		1,760		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,206		1,760		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料	種類	農林使用料	実績金額	4	決算付属資料	10	頁	
	特財名称	携帯電話アンテナ使用料	種類	農林使用料	実績金額	385	決算付属資料	10	頁	
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
					/	/	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
					/	/	-
	単位あたりコスト				/	/	
					/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	農業振興を円滑に進めるため必要な事務的経費である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	旅費の精査・物品購入時の価格比較等、コスト削減に努めている
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	成果の設定は困難である
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業振興を推進するための事務経費として適切に支出した【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	農業振興事務を円滑に進めるために必要な経費であり、今後も継続する必要がある。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度事業見直しなし

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	京野菜生産加速化事業									
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香		
会計情報	事業コード	210215	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計 決算付属資料 168 頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する						
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	京野菜生産加速化事業実施要綱、福知山市京野菜生産加速化事業実施要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	パイプハウス等を導入し、京野菜の産地規模の拡大に寄与するとともに農業経営の安定に資する。(府補助) 新規就農者に対して施設や機械導入を支援することで、次期の農業担い手を育成し産地拡大を目指す。(市補助)								
対象者	総農家数(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	1.8				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
委託先・実施主体等	福知山ハウス部会、パイプハウスを導入する新規就農者								
事業概要 (箇条書き)	ブランド京野菜の産地拡大を図る組織や新規就農者のパイプハウス、資材等導入助成								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	5,855	京野菜生産加速化事業補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	12,090	11,291		29,435		30,490		
	② 補正予算	1,088	0		0		0		
	③ 繰越予算	0	0		0		0		
	前年度繰越	0	0		0		0		
	次年度繰越	0	0		0		0		
小計(①~③)	13,178	11,291		29,435		30,490			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0		0		
	② 国支出金	0	0		0		0		
	③ 府支出金	12,338	10,451		28,595		29,500		
	④ 地方債	0	0		0		0		
	⑤ その他特財	840	840		840		990		
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,750		0		0		
	② 配当予算	13,178	9,541		0		0		
	③ 執行額	12,232	5,855		0		0		
	④ 執行率	92.8%	61.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.21/0	0.14	/	0.00	0.14	/	0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,680	1,120		1,120		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,912	6,975		1,120					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	京野菜生産加速化事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	5,662	決算付属資料	26	頁
	特財名称	ふるさと納税基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	193	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	万願寺とうがらしの販売額	百万円	125 / 120	146 / 140	129 / 150	/	150		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	施設園芸(パイプハウス増棟数)	棟	6 / 15	8 / 15	5 / 15	/	15		
	単位あたりコスト		1239.50	1529.00	1171.00				
	万願寺とうがらしの生産量	t	223 / 240	182 / 240	180 / 240	/	240		
単位あたりコスト		33.35	67.21	32.53					

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	計画的なパイプハウス等導入による栽培面積の拡大を図り、農家経営の安定と京野菜を中心とした特産物の振興を図るため必要である
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	施設栽培(パイプハウス等導入)による京野菜の生産性及び品質向上を図ることにより、市場や消費者等への高品質で安定した京野菜の供給を図るために有効である
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	パイプハウスは毎年一定数の導入があり、今後も安定した導入が見込まれる。特にこの事業を活用して万願寺とうがらしの生産者(新規就農者を含む)がパイプハウスを導入しており、高収益化が見込まれるブランド京野菜の生産拡大に寄与している。		
これまでの課題及び今後の方向性	将来的に高齢化や後継者不足による栽培面積の縮小が懸念されるが、今後もブランド京野菜の需要は大いに期待でき、担い手や新規就農者の推進を図ることにより産地拡大を目指す。		

## VI 他部署評価

事後事業評価			
事中山業評価			

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業見直しなし</li> <li>・京都府と連携し、適正な事務執行を行う。</li> </ul>

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---



# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農業生産組織等指導強化事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210217	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168・170	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	地域農業担い手組織活動支援事業費補助金交付要領、農業生産組織等指導強化事業補助金交付要領、福知山市地域農業再生協議会活動補助金、福知山市農村女性活動支援事業補助金												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	経営所得安定対策等推進事業、農業振興推進事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	生産組織や担い手組織等の育成強化を通じて、生産農家の生産力強化及び販売力の向上を図る。								
対象者	総農家数(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	0.4				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
委託先・実施主体等	福知山農業経営者会議、福知山市地域農業再生協議会、福知山市農村女性協議会								
事業概要 (簡潔書き)	生産組織や担い手組織等の育成補助								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	987	地域農業担い手組織活動支援事業補助金、農村女性協議会活動支援事業補助金、中丹米振興協議会負担金 農業生産組織等指導強化事業補助金、福知山市地域農業再生協議会活動補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,989	1,318	1,079	870				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	2,989	1,318	1,079	870					
予算財源内訳	① 一般財源	2,201	1,068	1,079	870				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	400	250	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	388	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	250	117	0	0				
	② 配当予算	3,239	1,435	0	0				
	③ 執行額	2,843	987	0	0				
	④ 執行率	87.8%	68.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.31/0.08	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,680	400	400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,523	1,387	400						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金	種類	農林業費府補助金	実績金額	41	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	農産物年間生産数量	トン	450 / 520	363 / 520	375 / 520	/	520		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	農産物年間生産者数(水田活用農家)	戸	721 / 1000	798 / 1000	607 / 1000	/	1000		
	単位あたりコスト		3.92	3.56	1.63	/			
	単位あたりコスト				/				

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	生産農家の組織活動の育成助成を行う事で、生産農家の生産力の強化及び販売力の向上を図るために必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	各種団体の事業実施に対する支援を、他事業と比較し妥当な水準で行っている。また、団体の事業の内容についてもコスト削減の観点から実施するよう指導している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	生産者相互の研鑽と連携の強化を図ることにより、生産性及び品質の向上を目指し、市場や消費者などへの安心・安全な農作物の供給に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業生産組織等の育成強化を図るために必要な施策である。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後においても生産農家の生産力の強化及び販売力の向上のため、本事業において生産組織の育成強化を図る。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事当事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業見直しなし</li> <li>・引き続き、農村振興に重要な役割を担っている組織の活動を支援する。</li> </ul>

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農産物価格安定対策事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210218	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	野菜生産出荷安定法・施行令・施行規則、特定野菜等供給地育成価格差補給事業実施要領、豆類価格安定対策事業等実施要領 他												
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	特産野菜及び豆類の価格低下の際の価格補填を行うことで、特産作物の生産振興を図るとともに、特産作物の育成を通して地域農業の活性化を推進する。												
対象者	農業者数(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	0.1								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 負担金支出 )												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	京都府の農産物価格安定対策事業に取組むことにより、特産野菜及び豆類の価格低下の際の価格補填を行うことで、特産作物の生産振興を図るとともに、特産作物の育成を通して地域農業の活性化を推進する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	207	農産物価格安定対策事業負担金、ふるさと産品協会会費										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,613	1,903	1,765	1,245	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	1,613	1,903	1,765	1,245		
予算財源内訳	① 一般財源	1,613	1,903	1,765	1,245	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	307	△ 404	0	0	
	② 配当予算	1,920	1,499	0	0	
	③ 執行額	1,914	207	0	0	
	④ 執行率	99.7%	13.8%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.14/0.09	0.04 / 0.00	0.04 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,345	320	320	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,259	527	320			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	価格安定加入品目等の販売額(7品目)	百万円	199 / 176	143 / 220	235 / 220	/	250
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	資金造成品目	品	8 / 10	8 / 10	8 / 10	/	10
		単位あたりコスト	164.50	239.25	25.91	/	
	単位あたりコスト						

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	野菜等の粗収益(手取収入)が、事前に定めた保証基準額を下回った場合に、府、市町村、契約出荷団体、生産者があらかじめ積み立てた交付準備金から補給金を交付する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	JA支店単位で、契約農家の作付計画を基に、必要な交付準備金を積立する。それぞれの団体から準備金の拠出がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	京ブランド作物が保証対象となる。需要拡大が見込まれる作物が多く、作物の金額保証を行うことでより多くの農家が取り組む可能性があるため、有効的な施策といえる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	対象生産者に補給交付金を交付し、野菜等生産農家の粗収益を一定水準に安定させる価格対策により、対象生産者の再生産を確保するとともに、生産振興対策と一体となった集団産地育成、保全を図る。		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度から開始された「収入保険」は、あらゆる作物・被害の損失に対応できるため大規模農家が当事業から離れた。(収入保険と当事業は併用して加入できない)</li> <li>・京ブランド野菜に位置づけられた野菜が当事業の対象作物となる。府内でもかなりの需要が見込まれるため小規模農家が当事業を利用して生産拡大を図れるようにする。</li> </ul>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業見直しなし</li> <li>・引き続き、京のふるさと産品協会が主となり、京ブランド野菜の価格を維持する事業。府、農家、JA、市町村が定めた割合ごとに積立、価格下落時に対応できるようにしている。</li> </ul>

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	茶業振興対策事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210239	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060104 施策名 農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する											
計画期間	開始年度	昭和55年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等	茶業振興対策事業実施要領(市・府)												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	被覆棚等の茶生産設備の整備により優良均質で高品質な茶生産を行うことにより茶業経営の安定を図り、本市の茶業振興を図る。										
対象者	市内茶生産農家					対象者数	14		単位あたりコスト	115.8	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	市内茶生産農家										
事業概要 (箇条書き)	製茶品質及び茶生産力の向上と効率的経営を推進し、本市の茶業振興を図ることを目的に、集団茶園の造成や優良品種の新植・改植・土地改良対策及び施設整備による茶品質向上にかかる助成を実施する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容							
	報償費	454		両丹茶品評会出品奨励金ほか							
	旅費	8		研修旅費							
	負担金補助及び交付金	120		両丹お茶まつり開催負担金、関西茶業振興大会京都府大会開催負担金							

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	450	1,044	1,769	2,219	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	450	1,044	1,769	2,219		
予算財源内訳	① 一般財源	0	744	809	1,259	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	450	300	960	960	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	
	② 配当予算	450	1,044	0	0	
	③ 執行額	322	582	0	0	
	④ 執行率	71.6%	55.7%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.14/0.04	0.13 / 0.00	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,220	1,040	1,040	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,542	1,622	1,040			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	荒茶生産金額	千円	62,528 / 68,000	63,000 / 68,000	49,852 / 68,000	/	68,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	茶業振興対策事業	事業	0 / 1	1 / 1	0 / 1	/	1
	単位あたりコスト		-	322.00	-	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	製茶品質及び茶生産力の向上と効率的経営を推進し、本市の茶業振興を図るために必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	被覆棚等の整備により優良均質で高品質な茶生産を行うことにより、取引単価の上昇につながっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	茶の品質及び生産力の向上につながる事業である。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度、両丹茶品評会関連事業を統合した。品評会関連と、施設面の整備事業を統合したことで、ソフト面、ハード面の両方から、本市の茶の品質向上と生産拡大の推進を統一的に推進する。茶農家の高齢化等により荒茶の生産量が減少傾向にあるが、品質向上による農家の所得確保や新規就農者の確保に努める。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業見直しなし</li> <li>・引き続き、優良品種の新植・改植、土地改良対策及び施設整備による茶品質向上にかかる助成を実施することで、両丹茶の高い品質を維持する。</li> </ul>

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	経営所得安定対策等推進事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210255	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	京都府経営所得安定対策等推進事業実施要綱、福知山市経営所得安定対策事業等推進事業実施要綱、福知山市地域農業再生協議会補助金交付要綱												
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	農業振興推進事業、農業生産組織等指導強化事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	国の経営所得安定対策事業を有効活用することにより、本市の農業の振興を図る。												
対象者	農家数(細目書配布農家数)	対象者数	7,782	単位あたりコスト	2.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等	福知山市地域農業再生協議会												
事業概要 (簡潔書き)	福知山市地域農業再生協議会と連携し、経営所得安定対策事業の円滑な推進を図る。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	職員手当等	1,035	福知山市地域農業再生協議会担当職員の超過勤務手当										
	賃金	3,730	臨時職員賃金										
	旅費	22	説明会旅費										
	使用料及び賃借料	137	複写機使用料										
	負担金補助及び交付金	4,395	福知山市地域農業再生協議会補助金										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,004	9,413	9,414	9,414				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	10,004	9,413	9,414	9,414					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	10,004	9,413	9,414	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	10,004	9,413	0	0				
	③ 執行額	8,877	9,319	0	0				
	④ 執行率	88.7%	99.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.22/0.07	0.77 / 0.16	0.77 / 0.16	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	9,935	6,560	6,560	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,812	15,879	6,560						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	経営所得安定対策等推進事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	9,319	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		不作付け水田の面積	ha	689 / 650	702 / 650	754 / 650	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	経営所得安定対策加入者数	人	2477 / 3000	798 / 1200	608 / 1200	/	1200
	単位あたりコスト		3.96	11.12	15.33	/	
	単位あたりコスト				/		

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	国の施策である経営所得安定対策を本市において運営するために必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	地域農業再生協議会に補助金を支出し、協議会においてコスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	市内の多くの農業者が加入し、令和元年度実績で約1億円の補償を受けている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業法人、集落営農組織、担い手を中心に経営所得安定対策事業を有効に活用できている		
これまでの課題及び今後の方向性	(課題) ・年々、高齢化や離農によって申請者が減少傾向にある。 ・不作付地の面積がかなりのペースで増加している。 (方向性) ・産地交付金の対象を従前の作物だけでなく、新たな作物にも広げることで新規取組者を増やす。 ・不作付地の増加を抑えるために、戦略作物(麦や飼料用米・加工用米など)などの、より効率的に面積確保しやすい作物への上乗せ助成を検討する。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---



# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	担い手確保・経営強化支援事業									
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香		
会計情報	事業コード	210258	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計 決算付属資料 170 頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する						
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名	-				
根拠法令等	担い手確保・経営強化支援事業実施要綱(国・府・市)									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地域の担い手が経営発展に意欲的に取り組む際に必要となる農業用機械・施設の導入等について支援し、担い手の確保・育成と農地の集積を図る。									
対象者	認定農業者・認定就農者等	対象者数	187	単位あたりコスト	24.9					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
委託先・実施主体等	認定農業者等・認定就農者等									
事業概要 (簡潔書き)	付加価値額の拡大などの経営発展に意欲的に取り組む地域の担い手が、融資を活用して機械等の導入等を行う際に、融資額を除いた自己負担部分について助成を行う。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	3,134	担い手確保・経営強化支援事業費補助金							

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0	0
	② 補正予算	3,137	0	0	0	0	0	0
	③ 繰越予算	△ 3,137	3,137	0	0	0	0	0
	前年度繰越	0	3,137	0	0	0	0	0
	次年度繰越	△ 3,137	0	0	0	0	0	0
小計(①~③)	0	3,137	0	0	0	0	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	3,137	0	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0	0
	② 配当予算	0	3,137	0	0	0	0	0
	③ 執行額	0	3,134	0	0	0	0	0
	④ 執行率			99.9%				
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.25 / 0.12	0.19 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,300	1,520	0	0	0	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,300	4,654	0	0	0	0	0	0
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	担い手確保・経営強化支援事業補助金	種類	農林業費府補助金	実績金額	3,134	決算付属資料	28 頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	導入機械数	台				5	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	助成対象者数	人(団体)			2	/	-
	単位あたりコスト				1567.00	/	
	単位あたりコスト				/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	担い手の確保・育成のためには、農業用機械の導入に対する支援が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	事業完了後も導入機械の利用状況や組織の経営内容を調査し、補助金の有効活用を確認している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	農業用機械等の導入支援を行うことで、担い手の育成・確保及び農地集積の促進を図ることができ、農業振興に有効な事業である		
これまでの課題及び今後の方向性	農業用機械の導入は担い手の大きな負担であるため、継続した支援が必要である。高性能機械の導入を支援することにより、生産性の向上と担い手の経営改善が期待できる事業であり、今後も農業者の要望があれば継続して行う必要がある		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	稼げる農業応援事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210453	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	福知山市国際水準GAP認証取得支援補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	産業支援事業、販路開拓支援事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	自ら「稼ぐ」ことに取り組み、将来展望を切り開こうとする意欲ある農業者を支援することで、農業で稼げるモデルを作り、農業が魅力的な就業先の一つとなることを目指す。												
対象者	農業者(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	3.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等	㈱グッドテーブルズ、㈱ファイル二十一、合同会社ネイビープランニング、GAP認証を取得した農業者、学校給食に地場野菜を納入した農業者												
事業概要 (簡潔書き)	①ふくちやまのエエもん発掘事業 発掘審査会開催 農産物・加工品セミナーの開催 個別相談会の開催(商品のブラッシュアップ支援) 認定品の販路開拓支援 GAP研修会の開催 国際水準GAP認証の新規取得にかかる経費支援 ②国際水準GAP認証取得支援事業												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	報償費	733	審査員謝礼										
	事務経費	733	旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料										
	委託料	3,063	ふくちやまのエエもん発掘業務委託										
	負担金補助及び交付金	3,754	学校給食地場野菜導入支援事業補助金、GAP認証取得支援補助金										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,998	10,220	5,881	17,101				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	3,998	10,220	5,881	17,101					
予算財源内訳	① 一般財源	1,999	8,476	3,132	14,072				
	② 国支出金	0	1,744	2,749	3,029				
	③ 府支出金	1,999	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	46	△ 54	0	0				
	② 配当予算	4,044	10,166	0	0				
	③ 執行額	3,340	8,283	0	0				
	④ 執行率	82.6%	81.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.34/0	0.53 / 0.00	0.53 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,720	4,240	4,240	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,060	12,523	4,240						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	農林業費国庫補助金	実績金額	1,974	決算付属資料	18	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		農業所得が対前年度比5%UPLした認定者	人	-	3 / 12	0 / 12	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	エエもん認定品	品	-	4 / 3	7 / 3	/	3
	単位あたりコスト		-	834.98	1183.23		
	GAP認証を取得する農業者 経営体		-	1 / 2	1 / 2	/	3
	単位あたりコスト			3339.93	8282.60		

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	農業で生計を立てるのが難しく、後継者が激減する中、経営の観点でやる気を持って稼げる農業に取り組もうとする農業者に対して支援することで、農業で稼げるモデルを作り、農業を就業先の一つとして考える若者が増えることを目指すものであり、優先度が高い事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	審査員として関わった専門家から、認定品のブラッシュアップだけでなく、かかわりのある方面への認定品の紹介もあり、市の販路拡大の取組以上の成果を得ている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	認定を受けた品について、前年度より所得が上がったものが多くあり、有効な取り組みである。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<input type="checkbox"/> 福知山のええもん発掘事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度：応募件数67件。その中から7品目を認定した。</li> <li>・平成30年度認定品に対する令和元年度の取組：認定した4品について、東京都の商談会に出品し販路拡大に取り組んだ。</li> </ul> <input type="checkbox"/> GAP認証取得支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度・令和元年度 各1経営体が認証を取得。</li> <li>・現在1経営体が認証取得に向け経営・管理の見直しを行うなどし準備中。</li> <li>・* 新型コロナの影響により、今年度の取得は見送る方向</li> </ul>		
これまでの課題及び今後の方向性	<input type="checkbox"/> ふくちやまのええもん発掘事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で販売促進につながる展示・販売スペースの確保や、スマホ等を利用したSNSによる情報発信が今後必要。</li> <li>・都市部での販路拡大を行うための商談会について、どの商談会を選定するのが有効かの情報収集が必要。</li> <li>・認定品に対する需要が格段に増える中、生産体制に限界があり、今以上の生産の増加が見込めなくなっている。</li> <li>・人件費を増やすコストとの関係から現状維持となる可能性あり。</li> </ul> <input type="checkbox"/> GAP認証取得支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・GAP取得は直接商品の高価格化に直結するものではないことから、GAP認証について消費者の理解を広げる必要がある。</li> </ul>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	畜産業等調査支援事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	小西 晴之						
会計情報	事業コード	210236	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	かつては「天田牛」の肥育が盛んだった当地域の畜産業が衰退の一途を辿り、現在殆ど繁殖農家だけになってしまっている現状の中、本市の畜産農家の現状や意向について調査し、課題解決に向けた方策を新たに創造することができるかどうかを検討する。また、このことで「肉のまち、福知山」へのアプローチを図る。												
対象者	畜産農家(牛)	対象者数	14	単位あたりコスト	82.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等	株式会社 グッドテーブルズ												
事業概要 (箇条書き)	・天田牛のルーツを辿り、「肉のまち」としての可能性を現状調査を踏まえ実施した。 ・本市の畜産業のありかた、方向性について助言を得るためアドバイザーを設置した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	990	肉のまち福知山に係る畜産業調査業務委託料										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,000	1,000	0	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,000	1,000	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	1,000	1,000	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 107	0	0	0				
	② 配当予算	893	1,000	0	0				
	③ 執行額	7	990	0	0				
	④ 執行率	0.8%	99.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.15/0	0.02 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	160	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,207	1,150	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	畜産振興対策事業	種類	農林業費府補助金	実績金額	90	決算付属資料	28	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		肉のまちへアプローチできる事業の新設	事業		0	0	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	農業者への意向調査	件		16	/	/	
	単位あたりコスト			0.44			
	販売業者への意向調査				4	/	
	単位あたりコスト						

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	「福知山のブランド牛」等を生産し、畜産農家の所得向上につなげることができれば「肉のまち 福知山」としての市の取組につながる施策となる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	市内畜産農家の現状を把握し、今後の方針を決定する上でも当該事業は必要であり、事業経費については適切であると考えます。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	現在、輸入牛と比べ和牛は高値で取引されている。また、「神戸牛」や「近江牛」等の有名ブランドでなくても、地域ブランド牛にも一定の需要がある中、かつて「天田牛」というブランド牛が肥育されていた本市において、これを復活生産することができれば畜産農家の所得向上につなげることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	畜産農家や流通業者(精肉店)等に聞き取りを行い、また、天田牛の歴史を調べることで可能性を模索した結果、天田牛の系統が途絶えていることと、新たな「天田牛」基準によるブランドを立ち上げたとしても、市内流通業者がそこに魅力を感じておらず生産—販売までのルートが確保できないことから、新たな肉ブランドを立ち上げることは困難である。		
これまでの課題及び今後の方向性	天田牛としてのブランド化の復活は、生産・流通・飲食部門から総合的に判断しても難しいと言える。ただ、天田牛が福知山地方にいたことは明らかであり、そのことを肉のまち観光のコンテンツとして使用することは有効であると考えます。また、今後も既存の畜産振興への支援が引き続き必要であるが、本事業については令和元年度をもって終了する。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	家畜市場運営事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210606	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172・174	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市営家畜市場条例、福知山市営家畜市場規則、福知山市営家畜市場の書類等の様式に関する規則、福知山市営家畜市場飼料販売規定条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市営家畜市場を、仔牛・成牛の購買の場とし畜産振興に資する。												
対象者	畜産農家(牛)	対象者数	14	単位あたりコスト	257.8								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等													
事業概要 (簡潔書き)	施設維持管理を適切に行い、全農京都の使用による家畜市場の開催(年5回)に寄与した												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	529	上下水道料、電気代など										
	役務費	140	通信料										
	委託料	140	警備業務										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,189	1,297	1,443	3,709				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,189	1,297	1,443	3,709					
予算財源内訳	① 一般財源	0	86	232	2,498				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,189	1,211	1,211	1,211				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	1,189	1,297	0	0				
	③ 執行額	837	809	0	0				
	④ 執行率	75.9%	62.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.26/0	0.35 / 0.00	0.35 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,080	2,800	2,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,917	3,609	2,800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	家畜市場使用料	種類	農林使用料	実績金額	1,001	決算付属資料	10	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		市内農家市場取引実績(年間)	頭			124 / 150	/ 150
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	中丹家畜市場取引実績(年間)	頭	549/590	553 / 590	459 / 590	/ 590	590
	単位あたりコスト		-	-	1.76		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	京都府唯一の家畜市場であり、年間約500頭の取引があり、繁殖農家・肥育農家両農家にとって必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	年間約1,000千円以上の使用料収入が見込め、支出バランスから効率的といえる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	成果目標と活動実績が同じ指標であったため、令和元年度分から成果指標を、市内農家との取引実績に変更した
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	中丹家畜市場の開場は、仔牛・成牛の購買の場とし福知山の畜産振興に有効である。		
これまでの課題及び今後の方向性	市営家畜市場は平成17年以降休場状態になっているため、今後、施設のあり方について検討が必要である。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度事業見直しなし

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---



# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	「スイーツのまち福知山」事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	中島 美香					
会計情報	事業コード	210228	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の生産・加工・流通・販売力を高め、1次産品のブランド化・6次産業化などを推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	スイーツフェスティバル事業補助金交付要領、福知山市スイーツの森づくり支援事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	①丹波くりの生産振興とブランド化支援 ②「スイーツのまち」PRIによる観光誘客の増加を図る												
対象者	総農家数(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	1.6								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	・栗の新植・改植にかかる補助金の交付 補助率 1ha以上:1/2 1ha未満:1/4 ・スイーツフェスティバル開催 スイーツフェスティバル実行委員会への補助金交付 ・スイーツコンテストの開催 《経過》平成25年度から、本市を「スイーツのまち」としてPRし観光誘客を図るため「スイーツフェスティバル」を開催してきた(観光担当課) ・平成18年度から、「丹波くり」に対し「特用林産物」の一つとして、苗の購入補助や苗の配布等の支援を京都府とともに行ってきたが、「丹波くり」の生産量は5年間で1/3に減少した。 ・もともと付加価値の高い「丹波くり」を「スイーツ」と結び付け、「丹波くり」を使ったオリジナルスイーツを開発し、「スイーツのまち」の発信と併せてPRすることで、高値の栗の出荷先を増やし生産拡大の栗生産者の所得向上を図る												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	2,823	スイーツフェスティバル事業補助金及び丹波くり新植・改植に係る補助金										
	報償費	560	スイーツアイデアコンテスト審査員報償及び受賞者の賞賜金										
	需用費	151	スイーツアイデアコンテスト実施に係る事務消耗品費等										
	委託料	115	丹波くり新植・改植補助金に係る木製看板作成										
	役員費、使用料及び賃借料	64	スイーツアイデアコンテストに係る郵送料等										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,538	6,038	6,538	6,499				
	② 補正予算	0	△ 1,800	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	3,538	4,238	6,538	6,499					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	5,299				
	② 国支出金	500	0	0	0				
	③ 府支出金	3,038	2,200	4,500	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	2,038	2,038	1,200				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	3,538	4,238	0	0				
	③ 執行額	2,423	3,713	0	0				
	④ 執行率	68.5%	87.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.3/0	0.31 / 0.00	0.31 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,400	2,480	2,480	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,823	6,193	2,480						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	「スイーツのまち福知山」事業(豊かな森を育てる府民税)	種類	農林業費府補助金	実績金額	2,110	決算付属資料	28	頁
	特財名称	地域振興基金繰入金(スイーツのまち)	種類	基金繰入金	実績金額	1,525	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	栗の生産量	t	0	0	24.8 / 42.6	/	47	47
観光入客数	千人	947	927	1116 / 1000	/	1050	1050	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	栗の新植面積	ha	0	1	3.5 / 4	/	4.5	4.5
	単位あたりコスト		0.00	973.09	1060.77			
	スイーツフェスティバル参加者数	人	4800	6000	0 / 0	/	7500	7500
単位あたりコスト		0.21	0.40					

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	(スイーツコンテスト) 京ブランドとして府が推奨する「丹波くり」は、すでに付加価値がある農産物であるため、市のブランド産品として売り出せるよう生産量を増やしていくために必要な事業である。 (スイーツフェスティバル) ・スイーツ店が多い本市の特性を生かした取り組みであり、まち歩きにより市内事業者への経済効果も期待される。 ・イベントに絡めたツアー造成がされる等、「スイーツのまち」が市内外問わず定着し始めている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	(スイーツコンテスト) 生産量増加のため、大きく栽培面積を増やそうとする意欲的な農業者に対し、より高い補助率で支援することで、規模拡大の推進を図っている (スイーツフェスティバル) イベントの開催だけでなく他の取り組みを実施することで福知山市の多様なスイーツを効果的にPRできる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	(スイーツコンテスト) JAを通さず自家出荷する農家が増えているため、正確な生産量を把握できにくい状況にある (スイーツフェスティバル) ・イベント等の参加者は年々増加傾向。 ・スイーツをきっかけとした他部署からの協力により学校と農業者の連携が図られている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価			(くり補助金) ・丹波くりの新植に対する補助金に関しては、補助金の周知をHPIより行ったが、周知しきれていなかったことが見受けられたため、周知方法を検討する必要がある。 (スイーツコンテスト) ・令和元年度よりスイーツコンテストの実施を市直営で行った ・スイーツコンテストについては、昨年と比較すると応募数が少なかったが、最優秀作品を観光案内所や産業フェアで販売することが出来、スイーツとともに、丹波くりの振興に寄与できた。 (スイーツフェスティバル) ・メインイベントであるスイーツフェスティバルは台風の影響により中止。 ・スイーツスタンブラリーでは過去最多の参加者があった。また、市公式Instagramと連動した新たな企画を実施し、市内外にスイーツのまちを発信することができた。
これまでの課題及び今後の方向性			(くり補助金) ・丹波くりの新植に対する補助金に関しては、特に年配の方々の農家向けに周知方法を検討し、補助金を活用した丹波くりの新植面積増加を目指す (スイーツコンテスト) ・スイーツコンテストにて受賞したスイーツを市内スイーツ店にて販売してもらうことを促し、スイーツの販売とともに福知山産丹波くりの消費拡大に寄与することを目指す (スイーツフェスティバル) ・事業者間のさらなる連携が課題。意見を出し合うワークショップを開催しているため、その参加者を中心にさらなる連携強化を目指す。

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	丹波くりの生産拡大を図るため、事業を継続する必要がある。 他課と連携し、生産者とスイーツ店を繋ぐ仕組みづくりを構築し販路拡大を目指す。

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---